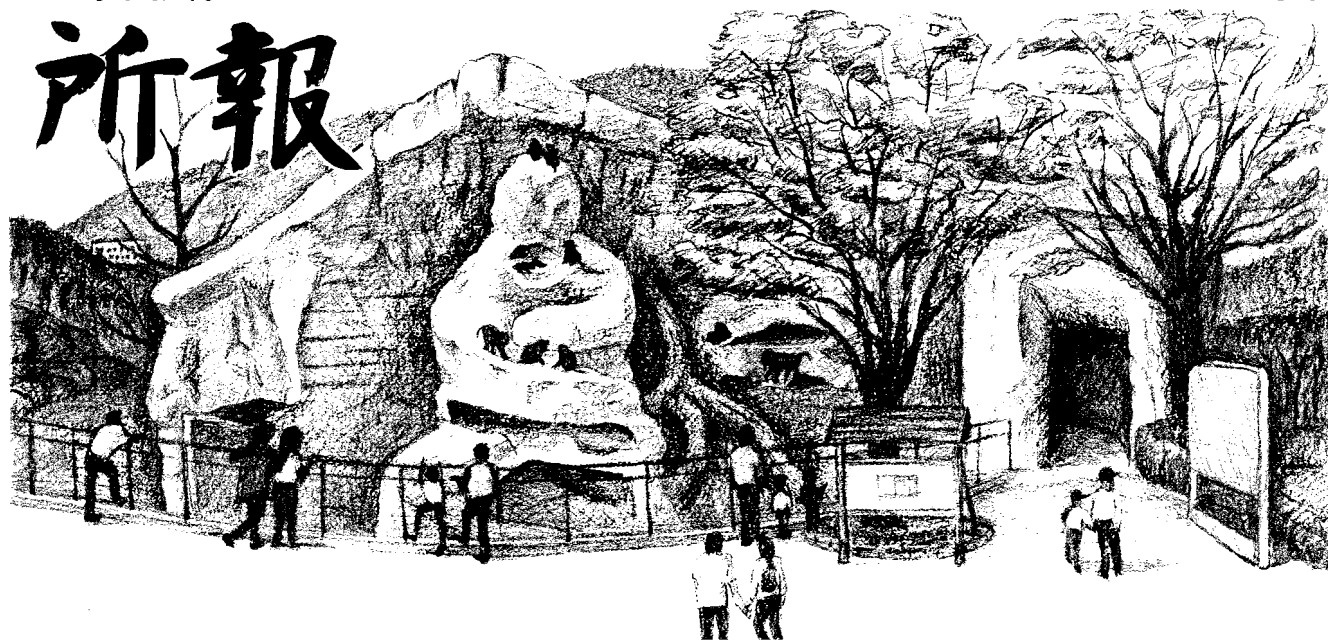


所報



平成13年6月



新しい「知」をとらえる教員研修

京都大学高等教育教授システム開発センター教授 藤岡 完治

今日の学校教育のテーマは「ひらかれた学校」に象徴される。「開く」の対極は「閉ざす」であるが、閉ざすとは複雑な統合的全体との関係を断ち切って部分に限定すること、複雑な現実を捨象して単純化して扱うということである。これまで学校が「閉ざして」きたとは思わないが、知識を単純化し、順序立て、効率的に教えることに重点を置いてきたのは確かである。その代償として生き生きとした生のダイナミズムに触れる経験を奪ってしまったのである。確かに現実世界は無秩序、曖昧性、不確実性を特徴とする「場」である。しかしその場の複雑性から社会も組織も一人ひとりの人間も生命を得ている。学校をひらくということは学校を生のダイナミクスの原理で再構築することなのである。

ひらかれた学校では「知」のあり様が従来とは一変する。たとえば国語のことばの学習一つとっても、よい話し方よい聞き方といった決められた内容を獲得するというよりは、聞くとはどういう経験か、話すとはどういう経験を具体的な状況で身体を媒介に学ぶ。聞き手の、息づかい、身体の状態、生活の洞察、話し手の意志の存在あるいはその性質、発語と呼吸…様々なことが「話す」という経験の全体を構成している。その多くは言語化して取り出せるものばかりではなく、個々の状況に即した

身体化された「知」を含んでいる。

新しい「知」は、状況に依存した、身体化された「知」であるから、この「知」をとらえるためには、教師も子どものからだを感じ、からだを重ね、からだをうつしとるという営みを継続し、時には仲間とともにふりかえり、交流しなければならない。これは新しい評価そのものである。その積み重ねが新しい「知」を測る「物差し」を生成するのである。

このようなダイナミックな評価の考え方にたつと、子どもとともに変化しながら評価の視点を生成すること、その視点を自分の言葉で語ることに、視点を交流すること、かつ自分の視点を相対化すること、視点を共有することといった条件を備えた教員研修が重要になる。その研修を組み立てる方策は様々であっていい。例えば授業の参加観察と物語ることを取り入れた教員研修、自分のことばで授業を語るカード構造化法はその一つである。

21世紀を生きる子どもたちの「知」をみつけだし、その成長を確かめる確かな評価の目を育てることこそ今日の授業研究の試金石なのである。

〔参考〕藤岡完治『関わることへの意志—教育の根源』
国土社 2000

もくじ

- 巻頭言 P. 1
- 研究の紹介 P. 2, P. 3
- 今年度の研修講座紹介 P. 4
- センター利用案内・教育用語解説 P. 5
- 教育実践のアイデア P. 6, P. 7
- 教育センターひろば P. 8

**自主的、自律的な教育活動の創造に向けた
学校の協働態勢づくりに関する研究**

教育センター主任指導主事(事)主任 吉竹 邦昭
主任指導主事 永岡 敏彦

今回の教育改革の理念の中心は、自主的、自律的な教育活動を創造して特色ある学校づくりを推進することにあります。この趣旨を具現化するためには、各学校において協働態勢づくりをより一層進めることが重要であると思います。

1 協働態勢づくりと「同僚性」

各学校では、学校教育を推進する過程において教職員が協働して、カリキュラムの開発をしたり教育活動を評価したり、また生徒指導や進路指導に当たったりするなど、様々な協働場面が存在します。この協働行動に関与するものが「同僚性」とよばれる規範意識で、これは教職員相互の成長と学校改善を志向する頻繁かつ厳しい相互作用(「同僚的相互作用」)によって強まっていくとされています。

諸外国の学校組織に関する研究によれば、同僚的相互作用は、学校の教育実践の方向性を明確にするとともに、実践への凝集性を生み教職員相互の連帯感を高めるうえで効果があると報告されています。また、活発な同僚的相互作用が行われている学校では、次のような集団の行動規範や雰囲気が見られるとも報告されています。

- 積極的、実験的な試みの規範が生まれている
- 校長と教職員、教職員同士の中で話し合う時間もたれて、共通に抱えている問題や課題、その解決のための方略について多様な意見や提案が出されている
- 学校の新しい文化を構築し、教職員としての自分自身を問い直そうとする志向性が生まれている など

この特徴は、教職員の相互依存による、共同のかつ建設的な教育改善をめざす組織文化が見られることにあると思います。

2 協働態勢づくりとコミュニケーション

先の同僚的相互作用には、コミュニケーションが働いています。コミュニケーションが円滑に、しかも有意味なものとなるためには、コミュニケーションを行う当事者に、明確な意思とともにコミュニケーション技術が必要となってきます。「アサーティブなコミュニケーション」はその一形態ですが、この形態は相手の自尊感情に留意した、攻撃性と非主張性を折衷したコミュニケーションの方法である

とされています。このコミュニケーションは、具体的には次のような技法です。

- 相手のプライドを傷つけないようにしながら言葉に気を付けて、言いたいことを相手に伝える
- 相手の立場を尊重しつつ、子どもを前に置いた真剣な議論を行う
- 相手の意見を尊重しつつ、よりよいものにしていくために意見を述べる など

この特徴は、相手を意識するとともに教育改善への志向を強く意識したコミュニケーションにあると思います。

3 小学校における協働態勢づくりの実際

教職員の間でどのようなコミュニケーションがどのような行動姿勢の形成に関与したとき、協働態勢づくりが推進されるかを、ある小学校において追跡しました。その結果、次のことが協働態勢づくりの背景にみられることが分かりました。

〔どのようなコミュニケーションが〕

- a 自分に仕事を任されている、そして期待されているということを感じることができるようなコミュニケーション
- b 自分のやっていることが周りの人から認められているということを感じることができるようなコミュニケーション
- c 自分のやっていることがこの学校のためになっているということを感じることができるようなコミュニケーション など

〔どのような行動姿勢の形成に〕

- ①自主的、自律的に行動していこうとする姿勢
- ②他者と協調・協力して行動していこうとする姿勢
- ③他者に対して寛容さをもって相互に依存しながら行動していこうとする姿勢 など

なお、両者の関係を追跡すると、行動姿勢「①」にはコミュニケーション「a」や「b」が、行動姿勢「②」及び「③」にはコミュニケーション「b」や「c」が深く関与していることが分かりました。

自主的、自律的な教育活動の創造が各学校に求められ、また期待されている現在、コミュニケーションの深化を図り教職員一人ひとりの教育実践への願いや思い、創造力、実践力等を結集することが一層必要となってくると考えられます。また、協働態勢の実現は、一体感や連帯感、充実感等を感じることにつながると思います。

※ 詳細は、教育センター研究紀要第21号をご覧ください。

教育課題

小・中学校におけるインターネットの活用に関する研究(Ⅱ)

教育センター主任指導主事(事)主任 松浦 俊雄
指導主事 住吉 磨

インターネットの教育利用に関する本研究では、第1年次の研究成果を基盤としながら、主として学習指導への活用を図るための実践的研究を行いました。ここでは、その研究内容の一部を紹介します。

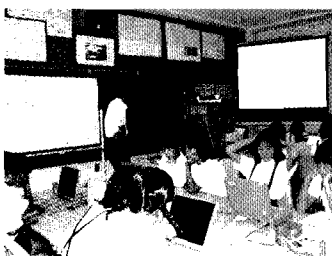
1 小学校における授業実践から

<インターネットの活用能力の育成>

本実践では、児童に育成すべき能力を次のように設定して学習指導を行いました。

- ① ブラウザの基本的な操作を用いて検索エンジンを利用した情報収集ができるようになる。
- ② 電子メールソフトウェアの基本的な活用ができるようになる。
- ③ ネットワーク上のモラルやマナーを身に付ける。

授業実践に当たっては、特設した4時間抜きの指導計画を作成して、学習指導を行いました。



児童は検索エンジンを用いて昆虫のことを調べたり、学習した成果を教室内ネットワークを利用したりして情報交換することができました。

<「総合的な学習の時間」における活用>

「総合的な学習の時間」では、先に述べた検索エンジンによる調べ学習以外にも、地理的に隔たった人々との情報交換を、電子メールを利用して行うことができました。児童がやり取りした電子メールの一部を次に示します。

○ 児童から水族館の職員へ

総合学習で海の生き物について調べています。いろいろなところに聞いたのですが、わからないことがあるので、教えてください。

○ 水族館の職員から児童へ

こんにちは。鳥羽水族館のおさかなはかせです。もう、どこかで、聞いてみたわけですね。

ということは、むずかしい質問ですか? (^^):

このようなやり取りを行いながら、児童は自らの課題を解決するための学習を進めていくことができました。

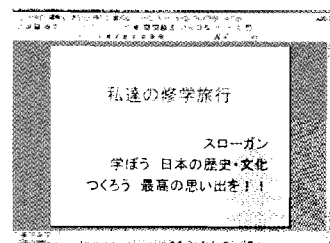
2 中学校における授業実践から

<修学旅行の取り組みにおける活用>

この実践は、生徒の修学旅行に対する意欲を高め

るとともに、インターネットなどの情報手段を用いた情報の収集や情報機器を用いた表現活動を実践させることを目的としています。

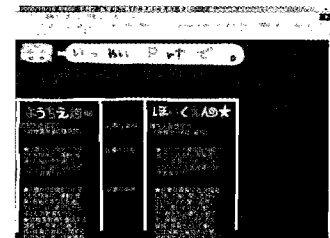
生徒は、収集した資料を活用して保護者への日程説明をプレゼンテーションソフトを併用しながら行うことができました(右図)。



この実践で生徒は「保護者の前で緊張した」「パソコンでプレゼンテーション資料を作るとはおもしろい」「勉強じゃなくて実際の仕事のようなものである」などの感想をもち、生徒なりに充実した学習活動となりました。

<グループウェアを用いた学習指導>

インターネットを活用した学習では、教育情報を自ら発信し、他者が発信した教育情報と相互交流することが大切な課題です。



本実践では、グループウェア(グループ学習支援ソフト)を用いて、生徒が自らの進路について個別に学習した成果をWebページの形式でまとめ、そのWebページを相互に閲覧する形で授業実践を行いました。

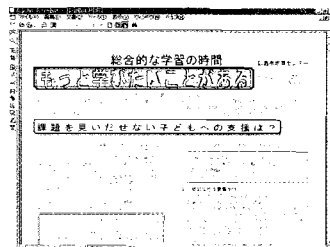
上図は、生徒の作成したWebページの一例です。

3 教育用コンテンツの開発

本研究では、研究協力校における授業実践とともに、授業の教材としての教育用コンテンツの開発にかかわる研究を行いました。

インターネットによる教育用コンテンツの具体的な内容については、これからの方向性として動画の配信、文書資料の提供などが重要になると考えられます。

文書資料の形式については、Webページの形式であるHTML形式や事実上の世界標準になっているPDF形式(右図)での提供が適当と考えられます。



特に、PDF形式についてはどのようなアプリケーションで作成した文書であっても、印刷処理を利用して簡単に作成することができるため、活用範囲が広いと考えられます。

さらに、学校と教育センター間、あるいは学校間の情報交換においても、電子メールを活用して円滑な情報収集が可能であることも確かめられました。

※ 詳細は、教育センター研究紀要第21号をご覧ください。

さらに充実した教育実践者としての自分の姿を求めて！

「聞く」・「考える」・「かかわる」などを通して

さまざまな分野のリーダー的な立場
の人の話を聞くことを通して

- ◇ 子ども理解を、より深めるために
《講座例》
 - 子どもの理解講座
「子どもの内面を探る（仮題）」
【講師】精神科医・神戸芸術工科大学
助教授 香山 リカ
 - 障害のある子どもの理解講座
「学習障害（LD）、注意欠陥／多動性障
害（ADHD）等、学習に困難を示す子ど
もの理解と支援」
【講師】広島大学教授 落合 俊郎
- ◇ 自分を見つめ、教職生活をさらに充実する
ために
《講座例》
 - メンタルヘルス講座
「ストレス対策と生き生きライフ」
【講師】広島大学講師 黒崎 充勇
- ◇ 広い視野で教育を考えるために
《講座例》
 - 教養講座
「学校教育に求めるもの（仮題）」
【講師】東京工業大学名誉教授・自在
研究所所長 森 政弘

これまでの実践を交流し合い、考え
や意見を出し合うことを通して

- ◇ 子どもや子どもをめぐる教育上の課題を知
り、指導・支援をさらに充実させるために
《講座例》
 - 人権・同和教育講座
豊かな人権感覚を育む人権
・同和教育の指導の工夫は
 - 健康教育講座
健康づくりにつながる食に
関する指導の工夫は
 - 問題行動事例研究講座（2組）
暴力行為、暴走族問題への
指導の工夫は

社会教育施設等での業務体験を通して

- ◇ 人の生き方にふれ、社会的な視野を広げる
ために
《講座例》
 - 教職経験者研修講座Ⅰ 安佐動物公園
で行います
 - 体験研修講座
広島市内の社会教育施設
等（選択）で行います

さまざまなケースを体験することを通して

- ◇ これまでの実践を振り返り、教育実践者と
してのこれからの姿をイメージするために
《講座例》
 - 教職経験者研修講座Ⅱ
実践史づくりを通して、自分のあゆみ
を見つめましょう
- ◇ 児童生徒へのかかわり方の改善のために
 - 生徒指導演習講座
サイコドラマ（心理劇）に参加するこ
とを通して、児童生徒へのかかわり方
を学びましょう
 - 学校カウンセリング講座（基礎コース・専門コース）
カウンセリングや面接技法の体験を通
して、児童生徒へのかかわり方を学び
ましょう

教材作成や実験・観察の実際を体験
することを通して

- 《講座例》
 - 各教科の実技、実験、観察講座

※ 詳しくは、講座案内、一覧表をご覧ください。
<これからの講座案内の送付予定>
◎後期分…8月

4 F 教育用ソフトウェアライブラリ・総合調整室利用案内

対 象

広島市教育関係職員

利用日時

月曜日～金曜日 9:00～17:15 (閉庁日を除く)

利用内容

教育情報の検索

教育センターが保有する教育図書、教育研究資料、視聴覚資料、学習指導案等の教育情報を検索することができます。

また、広島市立図書館が保有する図書資料も検索できますので、ご活用ください。

教育用ソフトウェアの活用に関する相談

情報処理技術者が専門的、技術的な相談に応じます。(火・金曜日)

教育用ソフトウェアの検索と試用

約2000本の教育用ソフトウェアの中から必要なソフトを検索して試用することができます。

学習指導用ソフトウェア以外にも、ワープロ文書のファイル変換やアンケート集計処理、OCR(光学式文字認識)などのソフトウェアを利用した校務処理を行うことができます。

視聴覚資料の活用

教育用ビデオソフトの視聴ができます。また、1人3本まで、5日間以内の貸出しも行っています。ご活用ください。

本年度は、デジタルビデオ編集機を整備する予定です。

3 F 図書資料室・教科書センター利用案内

研究・研修や授業に役立つ図書・教育資料等をそろえています。今年度も新刊がたくさん入りました。ぜひ、ご利用ください。



対 象

- 広島市教育関係職員

利用内容

- 図書の閲覧及び貸出し
- 教育研究資料(集録、紀要、要覧等)の閲覧及びコピー
- 小・中・高・養護学校の教科書の閲覧(新教科書もあります)

利用日時・規定

- 月～金曜日 9:00～17:15
- 図書貸出し規定
個人 3冊まで/2週間以内
団体 10冊まで/3週間以内

- ☆ 広島市立学校の「よいこのあゆみ(通知表)」や新聞の教育関連記事の切り抜きもご覧になれます。
- ☆ データベースを活用して必要な情報をすぐに検索できます。

教育用語解説

「説明責任」ってどういうこと？

「説明責任(accountability)」は、もともと経営学や会計学上の概念であり、ある組織や機関が、自らの事業において、そこに投入されたコストに見合うだけの成果をどれほどあげられたかについて負う責任、ならびに、その結果について説明する責任のことを意味します。

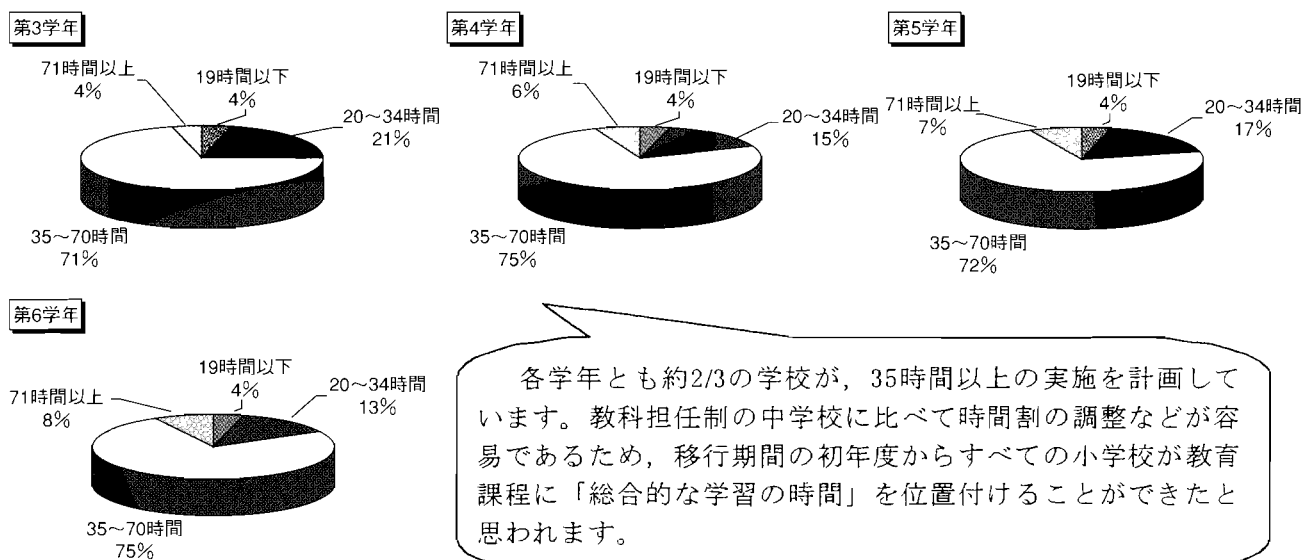
また、医学界では、医者と患者の信頼関係を築く上から「インフォームド・コンセント(informed consent)」という考え方があります。医者が患者を治療する前に、現在の病状や治療方針などについて説明し、主に治療方針について患者の同意を得ることであり、日本医師会では「説明と同意」と訳しています。

学校の説明責任については、中央教育審議会が「今後の地方教育行政の在り方について(答申)」(1998.9)の中で、「学校が地域住民の信頼にこたえ、家庭や地域が連携協力して教育活動を展開するためには、学校を開かれたものにするとともに、学校の経営責任を明らかにするための取組が必要である。このような観点から、学校の教育目標とそれに基づく具体的教育計画、またその実施状況についての自己評価を、それぞれ、保護者や地域住民に説明することが必要である。」と提言しています。これからは、教育目標・計画だけでなく、学校が実行・努力してきたことを、保護者や地域の方々に説明することが必要とされています。

小・中学校の「総合的な学習」

《昨年度の市立小・中学校の「総合的な学習の時間」の年間総時数について聞きました》

【小学校】135校



教育実践のアイディア

学習指導案づくりを見直してみましょ 社会科(小)
 —児童の「学び」・教師の「指導・支援」
 などの文脈が明確に表現されたもの— 担当：吉竹

私たちは、学習指導案づくりに当たって、内容や教材の分析をはじめ、児童の関心や実態の把握など様々な作業を行っています。社会科の場合、自らも社会生活を営んでいる児童は、社会をどのように見ているのか？社会とどのような接点をもっているのか？児童は教材をどのように見ていくことができるのか？などについて検討する作業などはその一例です。これらの作業からは、児童の内面に生成される様々な問いを予想することができます。これが、児童にとって解決したい問いとして「学習課題」となるのではないかと思います。そして、児童の問題解決のための学びが展開されるわけです。

そこで、指導展開を構想するに当たっては、児童の学びの文脈と教師の指導・支援の文脈を考え、それを学習指導案に明確に示すことが大切になってきます。昨今の学習指導案には、その文脈を図化したものが多くみられますし、指導・支援例も教師の意図や児童の学びの状況に沿って具体的に記述されたものが多くみられます。

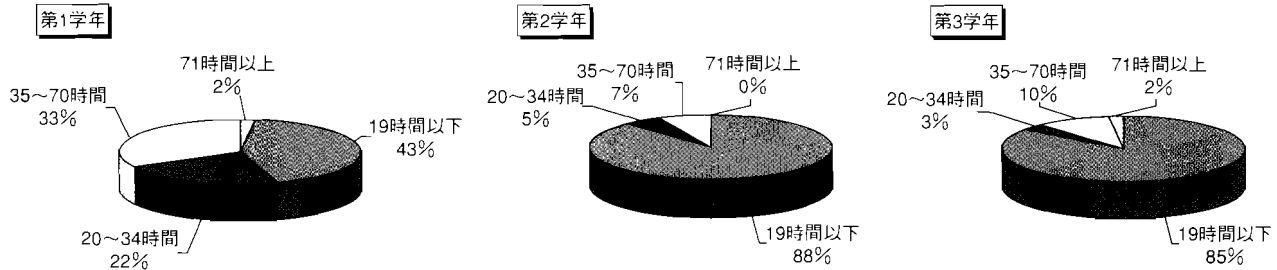
取り入れてみませんか 数学科(中)
 —「吹き出し」を取り入れた数学ノートづくり—
 担当：尾形

生徒が数学科の学習で毎時間活用しているノートの作り方に関する指導の工夫については、これまで様々な実践が報告されています。その中で、生徒がノートに「吹き出し」をつくり、学習中に気付いたことや感じたことを短い言葉で自由に書くことを通して、生徒が発表という方法だけでなく学習に積極的にかかわり積極的に取り組んだという実感がもてたり、自分の考えを深めたりすることができるようになったという実践があります。

「吹き出し」の記述内容には、「うれしい」「楽しい」「おもしろくない」などの心情的なもの、「本当にそうなるのかな？」「これでいいのかな？」「他にやり方は？」「もっといいやり方はないのかな？」などの思考の際につぶやく言葉（内言）の2種類があげられます。これらの「吹き出し」の記述は、生徒にその時間における自分自身の学習への意欲や思考過程の認識を促すと同時に、教師にその時間における生徒の思いや生徒の理解状況の把握の資料となり、次時に向けての授業づくりの視点を提供してくれます。

「総合的な学習の時間」の実施計画について

【中学校】60校



第1学年で「総合的な学習の時間」の実施を計画している学校が多いようです。第1学年が第3学年になったとき新教育課程の完全実施の年を迎えるため、平成12年度では第1学年を対象に実施し、平成13年度には第1・2学年で、さらに平成14年度は全学年での実施を目指していると思われます。

昨年度の広島市立小・中学校の「総合的な学習の時間」の実践事例を収集しています。4階の教育用ソフトウェアライブラリでプリントアウトができますので職員に申し出てください。

～実践してみませんか～

読み比べを取り入れてみましょう 国語科(高)
 -作者のものの見方や考え方を比較して自分の
 考えを広げ深めさせるために- 担当：森下

古典の授業と言えば、とかく文法に沿って口語訳をし、解釈をして終わりとなりがちです。でも、できることなら、古典を文学として読み味わせたい、教師なら誰もがもっている願いではないでしょうか。

そこで、古典で読み比べを取り入れてみてはいかがでしょうか。現代文学はもとより、古典文学では、様々な作品で普遍的なテーマが取り上げられています。生徒の興味のあるテーマを取り出して作者の見方、考え方を比較し、自分の考え方を広げさせたり、深めさせたりしてみましょう。

例えば、「枕草子」と「徒然草」の恋愛論を読み比べ、自分の恋愛観を見つめる授業というのはいかがでしょうか。

【枕草子と徒然草との読み比べ授業の展開例】

- ① 作品名、作者名を伏せて現代語訳で読み比べ、どんな恋愛観をもった作者か話し合う
- ② 枕草子「なほいとありがたく」と徒然草「妻というものこそ」を読み比べる
- ③ 二人の恋愛論についてディベートをする

「朝の会」を見直してみよう 障害児教育
 -「日常生活の指導」の充実のために- 担当：山領

一日の始まりという意識を高めるために、「朝の会」の時間を設定されている学級が多いと思います。天気調べ、予定の確認、歌など、学級によって様々な活動が計画されています。子どもたちは、毎日同じ活動を繰り返すことによって、課題を解決する力を確実につけていくことができます。

しかし、教師が同じ子どもに対していつも同じ場面で同じ支援を繰り返していると、子どもの活動の仕方が固定化し、次の段階の活動へ発展しにくくなることにつながりかねません。

同じ活動を繰り返す中で身に付けた力をもとにして、子どもが自ら「次はどうするか」に気付いたり、考えたりするなど、活動を高めていく場面を設定する必要があります。そのためには、一つ一つの活動場面で、子どもに提示する手がかりや言葉かけを減らしたり、働きかけるタイミングを遅らせたりする等、支援の形を変えていくことが大切です。「朝の会」の見直しから、「食事」「朝や帰りの支度」等の諸活動への見直しにも広げ、「日常生活の指導」の充実を図ってはどうかでしょう。

